



学校だより

おい大空

令和4年7月22日
佐久平浅間小学校

NO. 4

佐久市長土呂1717
0267-66-1717

自分で・みんなで・世界の中で

～登山宿泊学習・市内めぐり・社会見学の学びの姿から～



5 学年 登山宿泊学習

[東麓ノ登山山頂にて(令和4年7月7日)]

3 学年 市内めぐり



[佐久養殖漁業協同組合にて(令和4年7月5日)]

5 学年では、『だれとでも O・K』『全員が安全に』最高の2日間になる登山・宿泊学習にしよう』を目標に掲げ、1泊2日で東麓ノ登山・休暇村嬬恋鹿沢・嬬恋郷土資料館等を訪れました。

東麓ノ登山の登山では、途中岩場もあり汗を流しながら自分の力で登った子どもたちは、標高2228mの山頂に立つと、思わず「ヤッホー」「登山楽しいー」と声を出していました。自然の雄大さや美しさにふれるとともに、心身を鍛えることにつながりました。

夜のキャンプファイヤーでは、みんなでジェンカやマイムマイムを踊ったり、各クラスからの出し物を楽しんだりして、友情を深め、協力しあうことのよさを実感しました。

2日目の嬬恋郷土資料館では、浅間山の歴史を学び、郷土への理解を深め視野を広めました。

また、2日間通じて、仲間を思いやるとともに、ルールやマナーを守り、係活動を率先して行うなど、佐久平浅間小プライドに裏打ちされた行動をとることができました。

3 学年では、佐久養殖漁業協同組合・三葉産業・佐久市役所等をめぐり、佐久市の良さやそこに住む人々の営みに思いを寄せました。

6 学年では、森將軍塚古墳・長野県立歴史館等を訪ね、昔の人々の衣食住の生活を学び、日本の歴史により関心がもてるようになりました。

体験を通しての学びが、子どもの大きな成長につながっていると思います。

6 学年 社会見学 歴史を訪ねる旅



[森將軍塚古墳にて(令和4年6月29日)]

有意義で楽しい夏休みを！

夏休みの事故防止・安全確保に ご協力よろしく申し上げます



[支部児童会で夏休みのきまりを確認しました]

○交通事故の防止に向けて

日中、外で活動したり、自転車で友だちと出かけたりする機会が増えるため、交通事故の危険が心配される時期です。自分の目でしっかりと確認して横断歩道を渡ったり、ヘルメットをしっかりとかぶって自転車の乗ったりすることができるように、ご家庭・地域でもご指導をお願いします。

○水難事故の防止に向けて

家族で海や川でのレジャーを楽しむ場合は、十分な安全への配慮をお願いします。各地で水難事故も起きています。自然を楽しもうとする中で、子どもだけで池や川に出かけたり、水に入ったりすることがないように、ご家庭や地域でもご指導をお願いします。

○不審者被害の防止に向けて

声かけや不審者の事案が佐久地区でも発生しています。未然に防ぐために、「知らない人にはついていけない」「見知らぬ人の手が届く距離に近づかない」ことが大切です。防犯教室で学んだ「ひまわり」「はちみつまん」「いかのおすし」について、ご家庭でも重ねてご指導ください。また、事件の解決には、車の車種やナンバーを覚えていたことが大きな手がかりとなっていました。地域の皆様にも、子どもたちの様子を気にかけていただき、事件や事故を未然に防ぐことができるように、ご協力をお願いします。

最近では小学生によるインターネットやSNS等のネットトラブルも多発しているそうです。スマホ、携帯電話、パソコンを利用する際は、利用時間や利用方法についてお子さんと話し合い、トラブルに巻き込まれないようにご指導をお願いします。特に、配付しました『メディアとの付き合い 佐久市全体で大切に考えたい柱』について、家族で話し合った上で目標・約束を記入し、ご指導よろしくお願いします。

■ 8月の行事予定

7月23日(土)～8月18日(木) 夏休み

- 1日(月) 学校徴収金振替日
- 19日(金) 2学期始業式(4時間授業/給食あり)
- 25日(木) クラブ③
- 27日(土) おおぞら祭り
- 30日(火) 児童会⑤



- *夏休み中のプール開放はありません。
- *8月10日～16日は学校閉庁日の為、学校には入れません。
- *緊急連絡先等は7月15日に配付した通知をご覧ください。

■ ちがいをチカラにかえる授業づくり

6/30 体育科
仲間作り運動『グランドキャニオン』

授業学級 4年2組 授業者 小林 卓教諭

教育課程研究協議会(体育科)が10月に本校で行われますが、その事前授業が先日行われました。

ターザンロープを使ってグループの全員がマットからマットへ移動するために、「(仲間を)受け止めてあげて」と、子どもたちの声が響き渡る授業となりました。

子どもたちは、体のバランスをとる、体を移動する等の力を伸ばすとともに、協力して課題を解決する態度を育みました。

学習問題
全員が反対側のマットに届くにはどのようにしたらよいか。



[体育科 仲間を受け止めようとする子どもたち]

(文責：教頭 下條 拓也)